

大衡村

(1) 概要

本村の公共下水道事業は、吉田川流域関連公共下水道として、昭和63年より下水道事業に着手し、平成4年に一部供用を開始しました。平成26年度末の下水道普及率は58.1%、整備面積は612.1haとなっています。合併浄化槽事業の普及率は28.0%で、村全体の水洗化人口の割合は、74.7%となっています。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理普及率：H26 86.1%

H37 100%

H47 100%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（流域）

平成37年を整備完了としています。工業団地の造成に合わせて整備を進めていきます。

また、長寿命化計画を策定し、ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化の観点も踏まえ、予防保全型管理を行うとともに、長寿命化対策を含めた計画的な改築を推進します。

下水道普及率：H26 58.1%

H37 58.2%

H47 58.1%

2) 合併処理浄化槽整備事業

本村では、市町村設置型の浄化槽設置整備事業を行っています。合併処理浄化槽を設置する世帯に対して借入分の利子補給を行い普及促進しています。浄化槽未普及人口が多いため普及促進が課題である。

浄化槽普及率：H26 28.0%

H37 41.8%

H47 41.9%

(4) 住民との協働

イベントや広報紙等で下水道への接続や、合併浄化槽設置の呼びかけや、未接続世帯の戸別訪問を実施し、水洗化率向上を図っています。